

## 第3回みえインバウンド誘客計画検討有識者会議 概要

1 日時 令和8年2月16日（月） 13時45分から15時30分まで

2 出席者

有識者 石阪委員、伊与田委員、柴原委員、高木委員、本保委員、三重野委員、  
山田委員

発表者 石川県文化観光スポーツ部次長  
広島県観光連盟セールス事業部プロデューサー

3 主な意見

(1) 重点市場

- ・提案された台湾、タイ、フランス、ドイツ、英国、米国、インドネシア（開拓市場）は、データに基づいて分析されており、方向性に異論はない。
- ・伊勢志摩の観光資源をシンガポールでセールスしたところ、反応が良かった。
- ・式年遷宮はSDGsの考え方に通じるものがあり、英国市場との相性も良いだろう。
- ・重点市場に選定されない市場に対しても、ホームページの多言語化などの情報発信をすすめる方針なので評価できる。

(2) 周遊ルート

- ・訪日外国人旅行者が三重県へ来た後の次の目的地を考えることも重要。
- ・広島や石川のように、成田国際空港・羽田空港・関西国際空港からの欧米豪の取り込みを進める方向がよい。
- ・ゴールデンルートの南回りをPRしていくのが重要。「パールルート」や「ロマンチックルート」のような名前を付け、プロモーションをしていくのが良い。

(3) 受入環境整備

- ・旅館は和食の提供が基本となり、中小規模の旅館だと洋食の提供は難しい面がある。インドネシアはムスリム対応の勉強が必要。
- ・広島では飲食業の事業者が中心となって民間ベースで自主的な勉強会を行っている。

(4) 人材育成

- ・県やDMOでの体制構築や、人材活用について議論を深めていくことが重要。

(5) 宿泊統計

- ・石川のような県独自の宿泊統計が重要と感じた。
- ・宿泊税は、市町別の宿泊者数の統計を取る上でも有効。